



いなざわ



稲沢市都市計画マスタープラン（第3次）

令和2年度～令和11年度

【概要版】

稲 沢 市

計画の策定にあたって

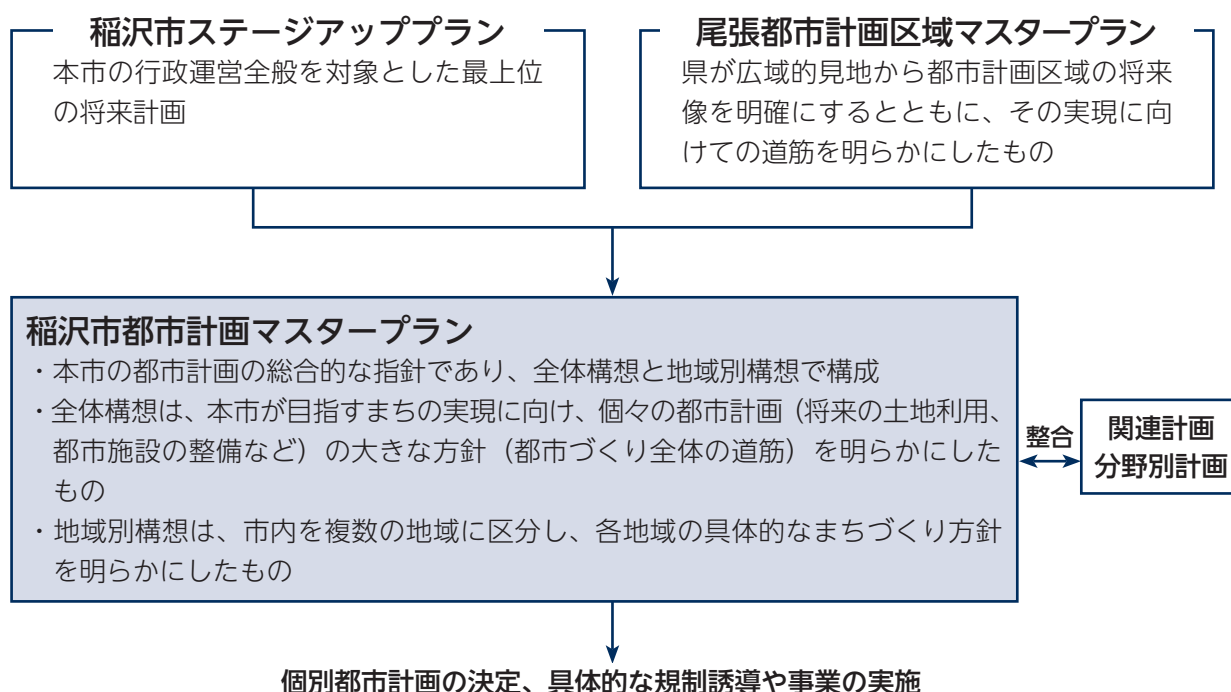
計画策定の背景・目的

本市では将来人口が減少し、更なる少子化・高齢化の進展が予測されることやリニア中央新幹線の名古屋－東京・品川間の開業が予定されていることなど、社会情勢の変化に対応すべく、本市における都市づくりの総合的な指針を定めることを目的として都市計画マスタープランを策定します。

目標年次

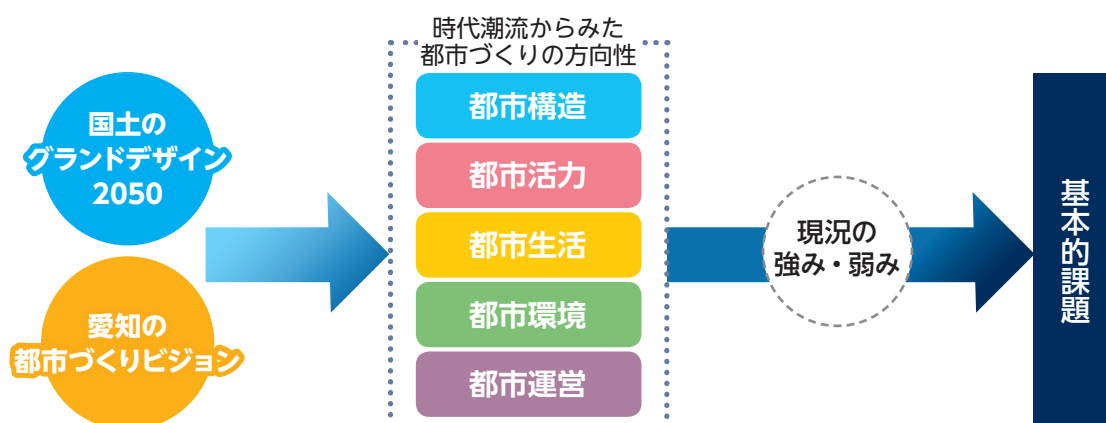
計画期間は10年後の2029（令和11）年度末までとします。

計画の位置づけ



都市づくりの方向性の整理

国が示す『国土のグランドデザイン2050』や県が示す『愛知の都市づくりビジョン』を踏まえ、時代潮流からみた5つの都市づくりの方向性を整理します。これら5つの都市づくりの方向性となる視点ごとに、本市における現況の強み及び弱みから本市の基本的課題を定めました。



全体構想

都市づくりの目標

上位計画である『稲沢市ステージアッププラン』の「稲沢市が目指すまち」を実現するため、基本的課題を踏まえ、都市づくりの目標を設定します。

稲沢市が目指すまち

- 市民が、将来もずっと暮らし続けるまち
- 名古屋圏で働く人が、暮らしの場として憧れるまち

実現

都市づくりの目標

基本的課題

- 将来の人口減少・高齢化に対応した都市構造の構築
- 中心市街地（名鉄国府宮駅及びＪＲ稲沢駅周辺）の活性化・にぎわい創出
- 人口減少に歯止めをかける計画的な住居系新市街地の形成
- 市民の移動を支える公共交通や道路の交通ネットワーク構築

都市構造

都市づくりの目標

- 暮らしを便利にする都市づくり
名鉄国府宮駅及びＪＲ稲沢駅周辺への都市機能の集積を強化するとともに、それら都市機能を支える居住を誘導し、コンパクトで魅力的な中心市街地の形成による市民交流の活性化を目指します。また、市街化調整区域の鉄道駅、支所及び市民センター周辺において日常生活を支える拠点形成を目指します。さらに、容易に中心市街地や主要な施設にアクセスできるネットワークの形成・充実を目指します。

都市活力

- 産業振興や、さらなる産業立地の受け皿の確保
- 本市の特色である植木産業をはじめとする農業の振興
- 本市に分布する観光資源を生かした観光の振興

- 本市の立地優位性を生かした産業の活力に満ちた都市づくり
名古屋駅からのアクセス性や広域交通条件に恵まれた本市の立地特性を生かし、新たな産業系市街地形成や尾張大國霊神社（国府宮）、木曾川をはじめとする本市の観光資源を生かした交流促進などにより、活力に満ちた都市づくりを目指します。

都市生活

- 市民の約６割が居住し、高齢化が進行する市街化調整区域における暮らしやすさの維持
- 若者世代の転入を呼び込む市街地の形成
- 想定される災害リスクを踏まえた災害に強い都市の形成

- 便利な生活を安心・安全におくることができる都市づくり
日常生活に必要な機能や公共交通サービスが住まいの身近に確保された生活圏構築や想定される災害リスクを踏まえた防災・減災への対応、バリアフリー化の促進などにより、便利な生活を安心・安全におくることができる都市づくりを目指します。
- 若い世代が住みたくなる都市づくり
住環境、教育環境の整備や通勤・通学の利便性の確保など、若い世代が生活をおくるうえで必要な環境を整えることにより、若い世代が住みたくなる都市づくりを目指します。

都市環境

- 社寺林、農地や木曾川など豊かな自然環境の保全
- 公共交通や自転車の利用促進による環境負荷の低減

- 本市の豊かな自然が感じられ、環境負荷が小さい都市づくり
本市の社寺林、農地や木曾川など豊かな自然環境の保全、公共交通や自転車の利用促進による環境負荷の低減により、豊かな自然が感じられ、環境負荷が小さい都市づくりを目指します。

都市運営

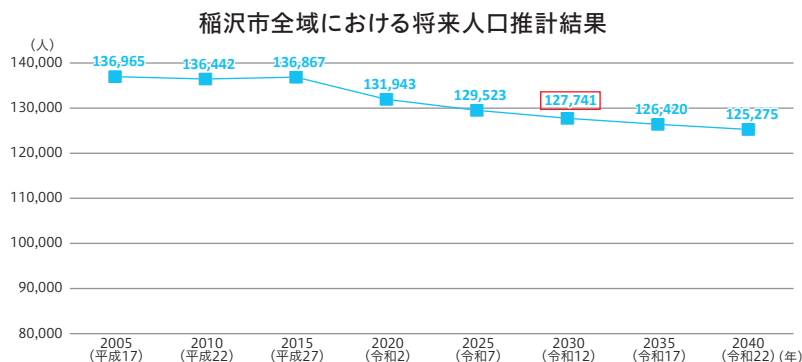
- 既存ストックを最大限生かしたインフラ施設の長寿命化などによるコスト削減
- 必要な公共サービスの維持と施設量の適正化

- 次世代に引き継ぐ効率的な都市づくり
鉄道駅などの既存ストックを最大限活用した都市基盤施設の整備や公共施設の再編・総量適正化を行うなど、人口減少・超高齢社会に対応した次世代に引き継ぐ効率的な都市づくりを目指します。

将来市街地規模の設定

(1) 将来人口

将来市街地規模を設定する上で前提となる将来人口は、本計画の上位計画である『稲沢市ステージアッププラン』における推計値と整合させる必要があることから、計画期間の最終年（2030（令和12）年）における市全域の人口を127,741人と設定します。



(2) 市街地の規模

住居系市街地及び産業系市街地の新規増分は以下のように設定します。

名古屋市近郊という地理的特性を生かした新たな人口定着を図り、核家族化が進行することによる世帯数増加に対応します。

住居系市街地の新規増分 約46ha

本市の産業の成長に対応するとともに、広域的な交通利便性を生かした企業誘致を進めていくことにより、将来の市内総生産の増額を見込みます。

産業系市街地の新規増分 約30ha

将来都市構造

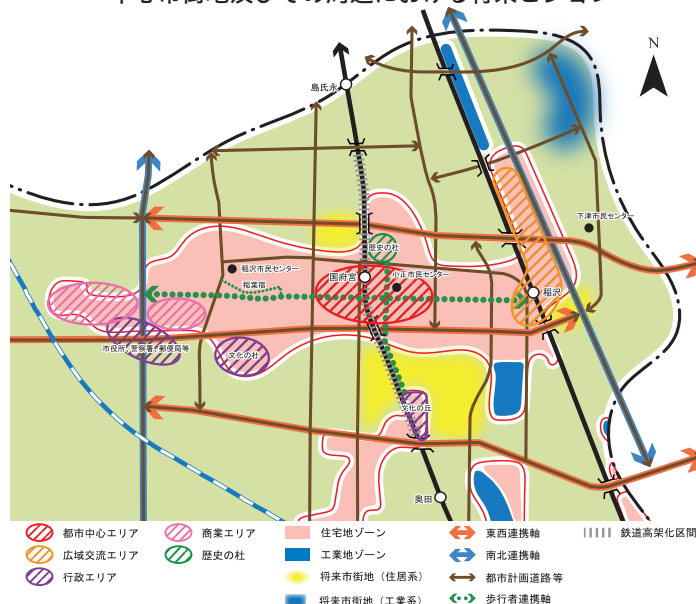
(1) 将来ビジョン

今後10年で目指す将来都市構造を定めるにあたって、長期的な都市づくりを展望しておくことが必要です。このため、概ね30～40年後を見据えた将来ビジョンを示します。

【中心市街地及びその周辺】

- 名鉄国府宮駅及びJR稲沢駅周辺については、都市機能を充実しつつ、一体の中心市街地として利便性をさらに向上していきます。
- 市民の生活を支える中心地としてポテンシャルが高い名鉄国府宮駅の周辺は、鉄道の高架化事業を進め、分断が解消された生活利便性の高い市街地を形成していきます。
- JR稲沢駅周辺は、広域から人が集まり交流する市街地を形成していきます。

中心市街地及びその周辺における将来ビジョン



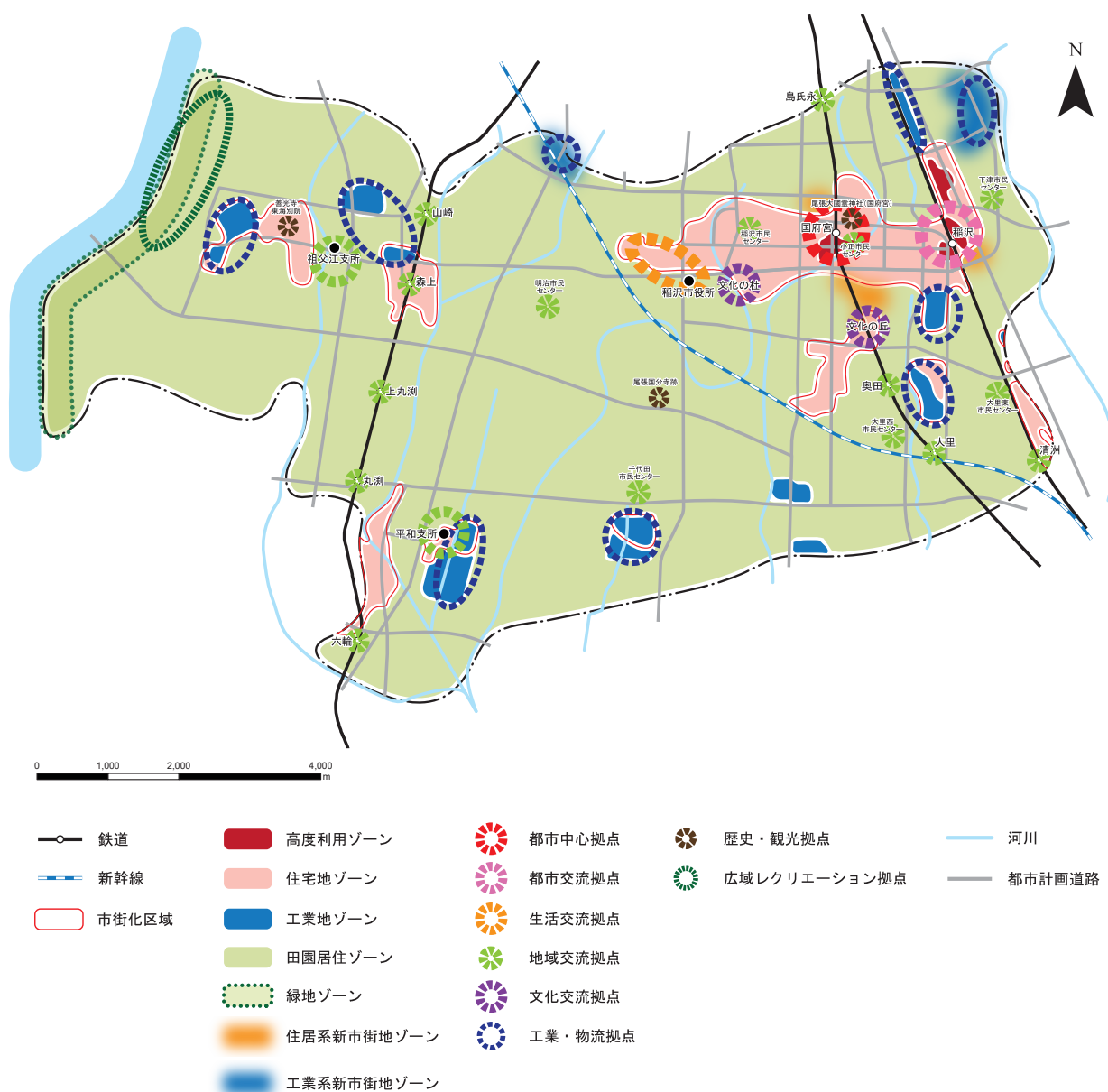
【その他の地域】

- 人口動向を見極めつつ、生活利便性を維持するための都市機能の再配置や住宅地の整備などを進めていきます。

(2) 今後10年で目指す将来都市構造

- 名鉄国府宮駅及びJR 稲沢駅周辺における高密度な市街地形成によりにぎわいを創出し、都市機能の強化を図ります。また、都市機能を維持していくためには、定住人口の確保が不可欠であり、これに隣接する市街化調整区域において新たな市街地を形成します。
- その他の既存市街地においては、今後も快適な生活ができる住環境を維持します。また、本市の人口の約6割が居住する市街化調整区域においては、地域コミュニティを維持するため、市民生活を支える鉄道駅をはじめとする既存ストックを活用した定住の促進を図ります。
- そして、これら各地域を相互につなぐネットワークを形成することで、誰もが都市的サービスを楽しむことができる都市構造を構築します。

将来都市構造図（拠点・ゾーン）



土地利用の方針

(1) 市街化区域の土地利用の方針

■都市拠点の形成に資する新たな市街地整備

- 名鉄国府宮駅周辺に位置する稲島東地区、高御堂南地区、正明寺地区、JR稲沢駅周辺に位置する国府地区において、公共交通や生活利便性を生かしたまちなかへの居住を促進する新たな市街地整備

■名鉄国府宮駅周辺の再整備による商業機能の集積

- 市街地再開発事業などにより、都市機能と居住機能が融合した活気ある土地利用を促進
- 空き家や空き店舗の活用などにより、商業系用途地域における商業集積

■身近な都市機能立地による日常生活利便性の維持

- 市民の日常生活に密接に関連する都市機能の立地を継続し、市民の日常生活利便性を維持

■既存工業地における操業環境の維持

- 既存の大規模工場や工業団地において、周辺環境との調和を図りながら良好な操業環境を維持
- 必要に応じて生産活動を継続・拡大できるように、地区計画などを活用して工業地としての機能を維持・強化

(2) 市街化調整区域の土地利用の方針

■無秩序な開発の抑制による農地の保全

- 新たに市街地整備を推進する区域との調整を図り、無秩序な開発の抑制による農地の保全

■地域交流拠点における定住の促進

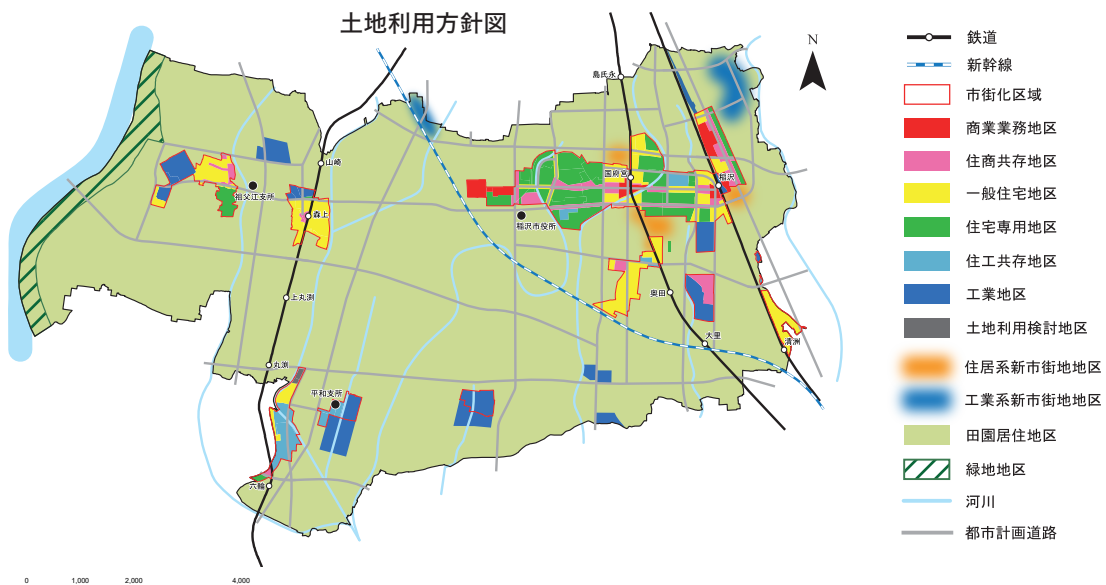
- 公共公益施設が集積している支所及び市民センター周辺や交通の利便性が高い鉄道駅を生かして、地区計画などを活用した定住の促進と人口の維持

■住み慣れた地域での定住人口の集約化

- 既存ストックを生かした地区計画などの活用により、住み慣れた地域での定住人口の集約化

■立地特性を生かした新たな工業系市街地の確保

- 広域交通の利便性が高い清水地区、赤池地区周辺において新たな工業系市街地の確保



都市施設整備の方針

(1) 交通体系

【道路整備の方針】

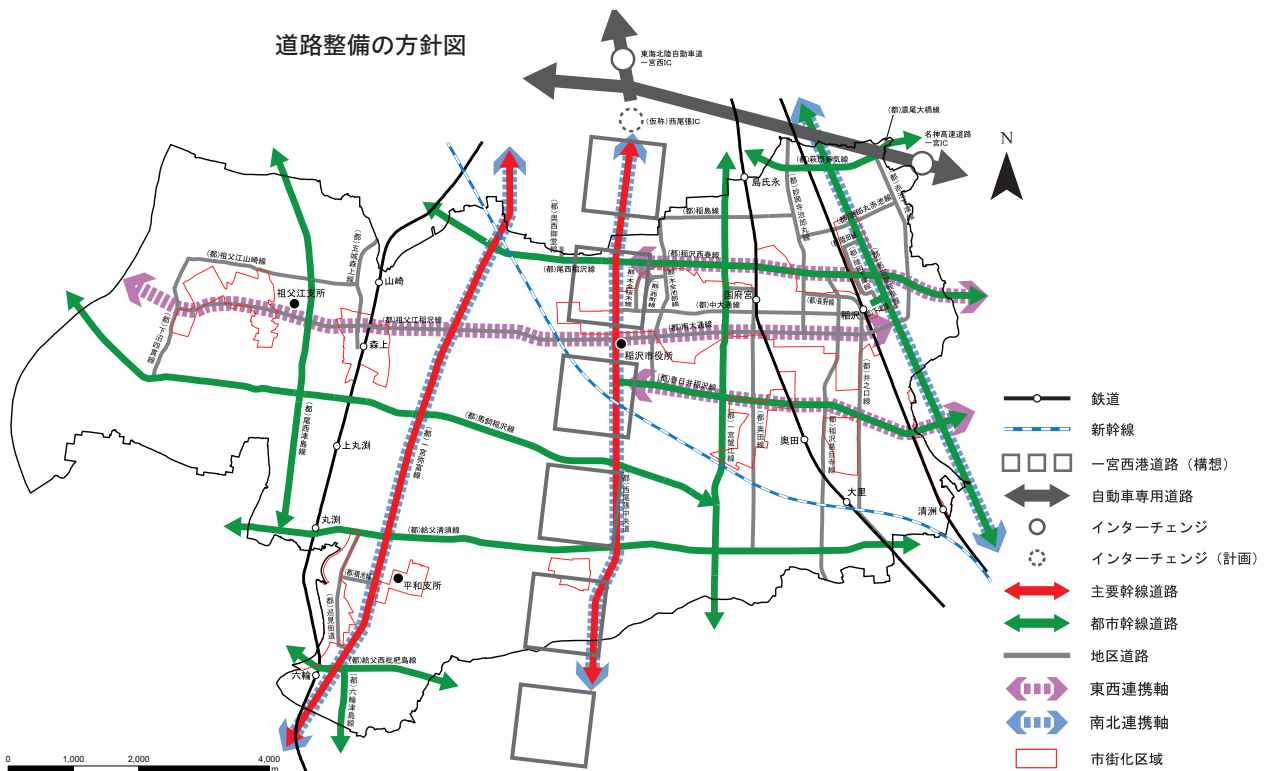
基本的な考え方

- 都市の骨格となる道路ネットワークの形成
- 立地優位性を生かす広域交通体系の形成
- 安全で利用しやすい道路の整備
- 自転車の利活用に配慮した通行空間の確保
- 都市計画道路の見直しや道路の長寿命化による効率的な都市運営

方針

- 道路機能を踏まえた整備
- 東西連携軸である都市幹線道路の優先的な整備
- 安全で利用しやすい道路の整備
- 交通渋滞及び踏切対策
- 歩行者及び自転車の通行空間の確保
- 必要性・実現性に配慮した都市計画道路の見直し

道路整備の方針図



【公共交通、駐車場整備の方針】

基本的な考え方

- 都市拠点における交通結節機能の強化
- 公共交通のネットワーク形成
- 通勤・通学などの生活利便性の向上
- 公共交通環境の整備
- 公共交通の利用促進

方針

- 名鉄国府宮駅における交通結節機能の強化
- 鉄道の高架化
- JR清洲駅における駅前広場整備
- 公共交通のネットワーク形成
- パークアンドライドの利便性向上
- 自転車駐車場の整備・拡充

(2) 都市環境

【公園・緑地整備の方針】

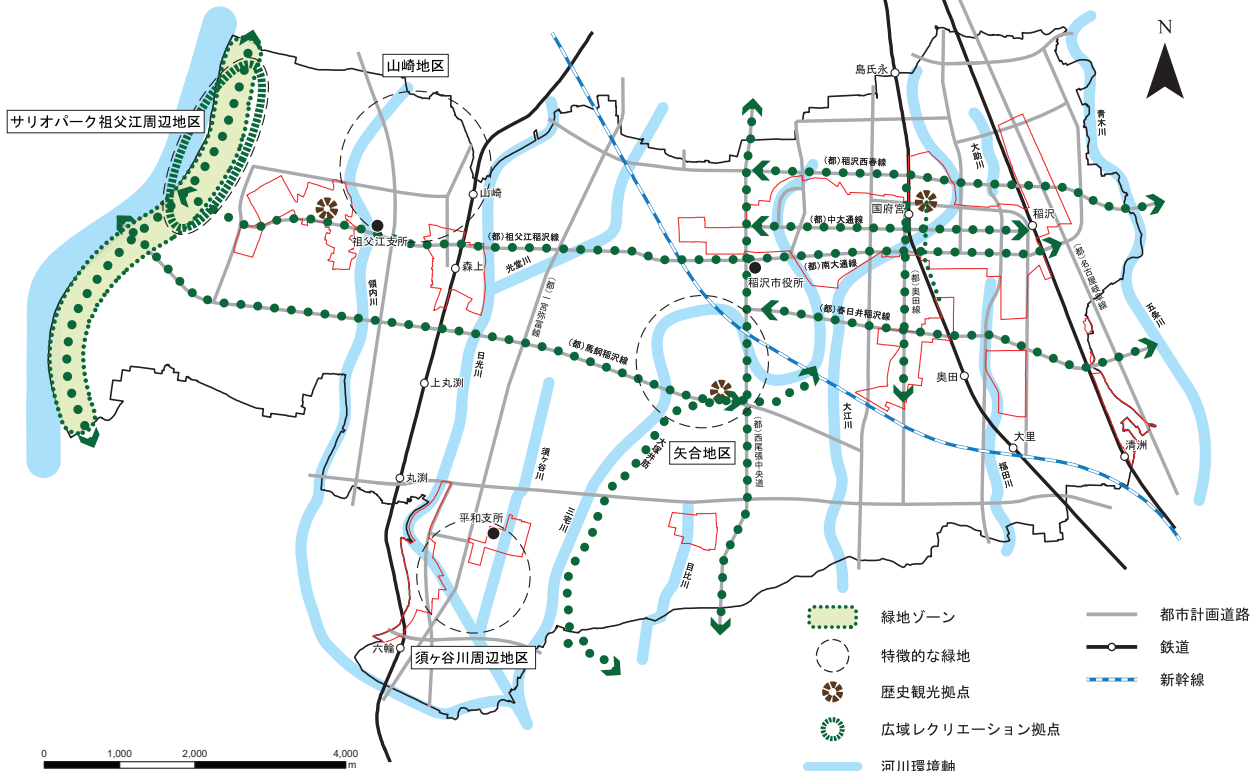
基本的な考え方

- 植木産業をはじめとする営農環境の保全
- 既存の公園・緑地機能の充実
- 利用しやすく特色のある都市公園の整備
- 新たな市街地における公園・緑地の整備
- 河川、樹林地などの自然環境の保全
- 住宅地や工業地の緑化
- 既存の公園・緑地の有効活用

方針

- 拠点にふさわしい公園・緑地機能の充実
- 公園・緑地の整備
- 水と緑のネットワークの形成
- 特徴的な緑の保全・活用
- 市民協働による緑づくり

公園・緑地整備の方針図



(3) 防災

基本的な考え方

- 防災・減災に対応したまちづくり

方針

- 防災拠点の確保及び機能充実
- 災害時におけるライフラインの確保
- 民間建築物の耐震化の促進
- 浸水被害の防止・軽減
- 防災・減災に配慮した市街地整備

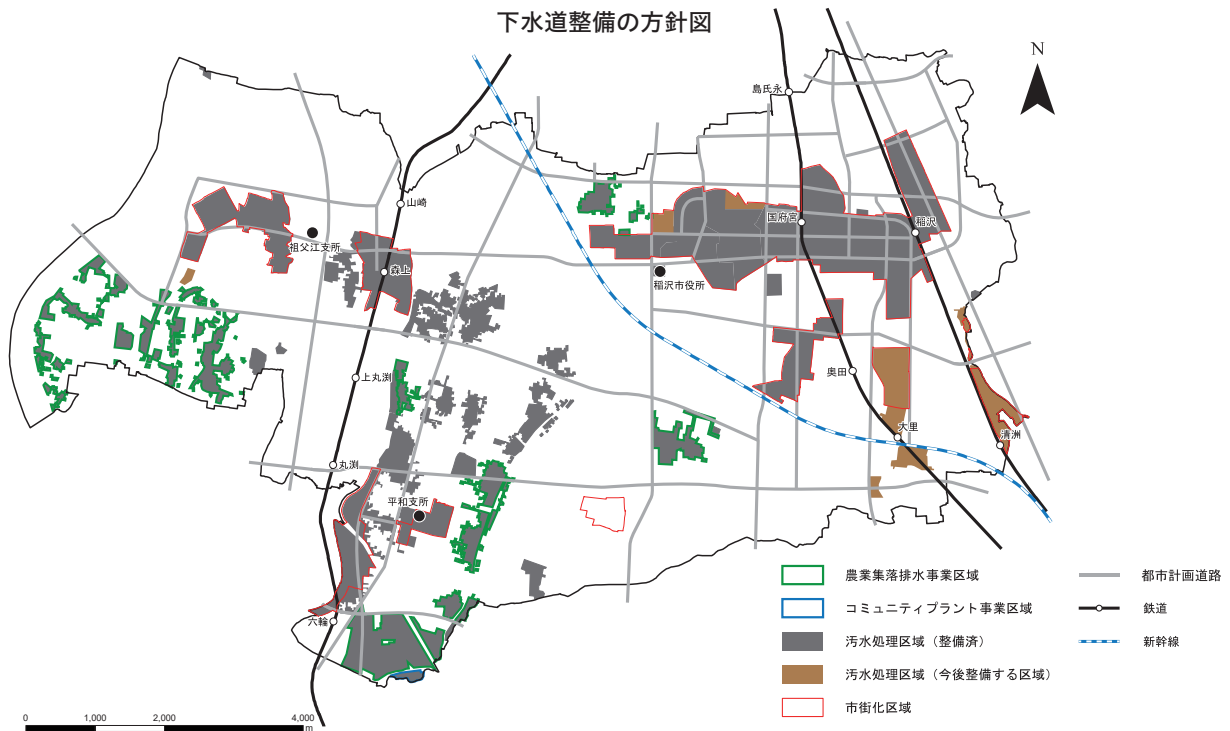
【河川・下水道整備の方針】

基本的な考え方

- 公共下水道などの整備
- 身近に感じられる水辺空間の整備
- 公共下水道などの長寿命化による効率的な都市運営

方針

- 河川・水路の整備
- 下水道の整備と維持管理



【その他都市施設の方針】

基本的な考え方

- 公共公益施設の集積及び機能維持
- 水道施設などの現有機能の維持・更新
- 必要な公共公益施設の適切な維持管理

方針

- 水道施設及び環境施設の維持・更新
- 公共公益施設の機能維持・強化

（4）景観

基本的な考え方

- 観光交流を促進する特徴的な景観形成
- 市街地の良好な景観形成
- 豊かな自然環境を生かした景観形成

方針

- 特徴的な自然景観の形成
- 歴史的資源を生かした景観形成
- 良好な市街地景観の形成

地域別構想

支所及び市民センター地区を基本として9地域に区分し、地域の特徴を考慮したまちづくり方針を定めました。

① 祖父江地域

まちづくりの目標

- サリオパーク祖父江や銀杏畑をはじめとする地域資源を生かし、たくさんの人が訪れ、楽しめるまちづくり
- 静かで落ち着いた住環境を維持しつつ、祖父江支所を中心とした快適な生活をおくることができるまちづくり
- 公共交通などによるアクセス利便性が向上するまちづくり
- 浸水災害などから地域を守る安心・安全なまちづくり

まちづくり方針

- 祖父江支所周辺における空き家の活用や地区計画などによる定住促進の検討
- 名鉄森上駅周辺における日常生活に関連する都市機能の立地の推進、空き家の活用や地区計画などによる定住人口の維持
- 市街化調整区域に立地する鉄道駅周辺における空き家の活用や地区計画などによる定住促進の検討
- 自然環境に恵まれたサリオパーク祖父江の特色を生かした交流促進
- 銀杏畑をはじめとする農地景観の保全



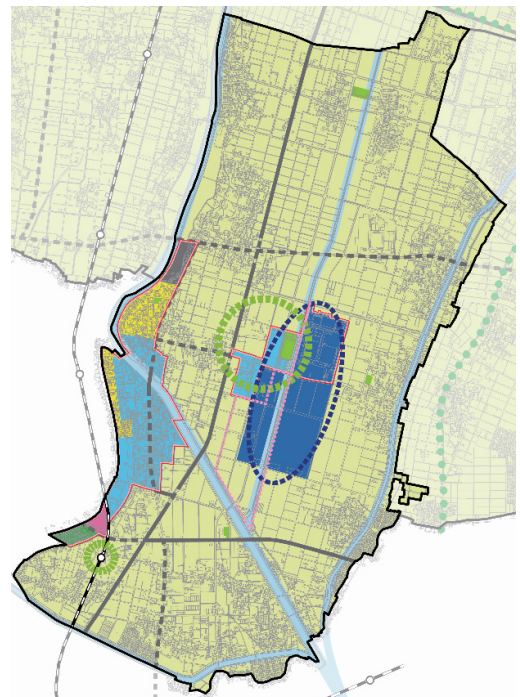
② 平和地域

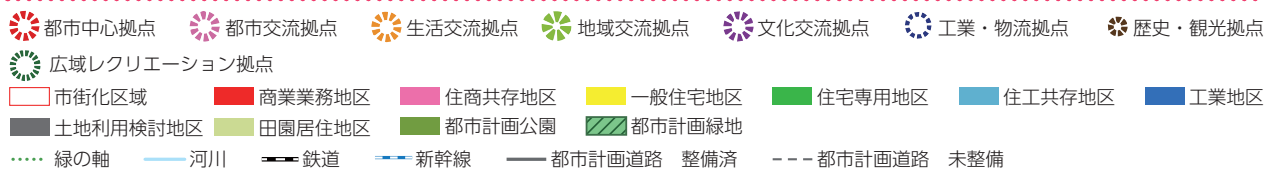
まちづくりの目標

- 落ち着いた良好な住環境や生活利便性を維持するとともに、平和支所や名鉄六輪駅を中心とした快適な生活をおくることができるまちづくり
- 幹線道路の利便性を生かし、さらなる工業集積による活力あるまちづくり
- 桜ネックレスや勝幡城跡などをはじめとする地域資源を生かしたまちづくり
- 浸水災害などから地域を守る安心・安全なまちづくり

まちづくり方針

- 平和支所及び名鉄六輪駅周辺における空き家の活用や地区計画などによる定住促進の検討
- 生産・物流機能の集積
- 桜ネックレスと勝幡城跡など、地域資源の連携を検討





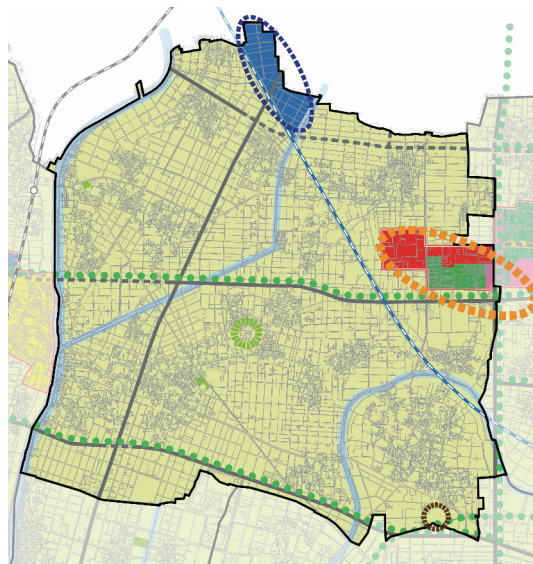
③ 明治地域

まちづくりの目標

- 史跡尾張国分寺跡をはじめとする地域資源を生かしたまちづくり
- 明治市民センター周辺に住宅地形成を図るまちづくり
- 市役所周辺において都市機能の集積を維持するまちづくり
- 植木畑などの地域特有の自然環境に配慮したまちづくり

まちづくり方針

- 市役所周辺における公共公益施設や商業施設などの都市機能の維持
- 明治市民センター周辺における空き家の活用や地区計画などによる定住促進の検討
- 隣接する一宮市の工業系土地利用と整合を図り、立地特性を生かした産業立地を推進
- 史跡尾張国分寺跡周辺における緑の軸を生かした交流促進
- 大塚井筋における散策路の整備促進



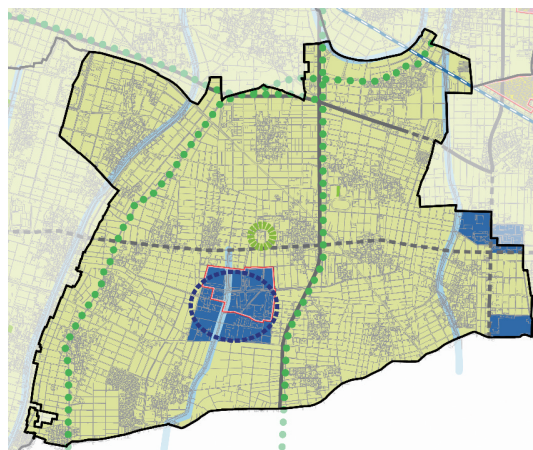
④ 千代田地域

まちづくりの目標

- 千代田市民センター周辺に住宅地形成を図るまちづくり
- 工業集積により地域の活力を生むまちづくり
- 地域全体に広がる農地や河川などの自然環境に配慮したまちづくり

まちづくり方針

- 千代田市民センター周辺における空き家の活用や地区計画などによる定住促進の検討
- 地区計画などを活用した既存工業地における操業環境の維持・向上
- 大塚井筋における散策路の整備促進



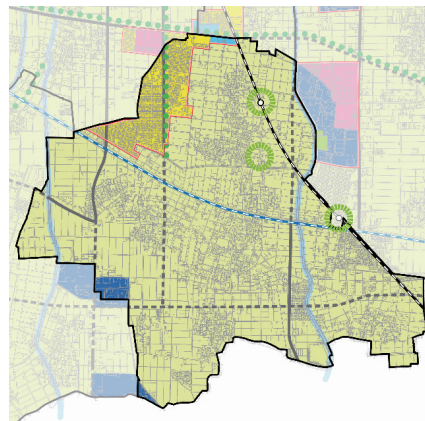
⑤ 大里西地域

まちづくりの目標

- 落ち着いた良好な住環境を維持するとともに、大里西市民センターや名鉄奥田駅及び名鉄大里駅を中心とした快適な生活をおくることができるまちづくり
- 基盤が整備された住宅地において継続的な土地利用ができるまちづくり
- 幹線道路の歩道整備など安心・安全に歩くことができるまちづくり
- 地域の歴史を身近に感じることができるまちづくり

まちづくり方針

- 大里西市民センター及び鉄道駅周辺における空き家の活用や地区計画などによる定住促進の検討
- 空き家の発生抑制や適正管理、利活用による良好な住環境の維持



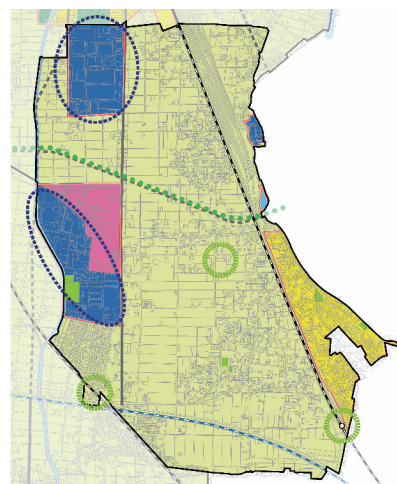
⑥ 大里東地域

まちづくりの目標

- 名鉄大里駅とJR清洲駅に近接するポテンシャルの高さを生かした良好な住宅地を形成するまちづくり
- 工業集積により地域の活力を生むまちづくり
- 幹線道路の歩道整備など安心・安全に歩くことができるまちづくり
- 地域の歴史を身近に感じることができるまちづくり

まちづくり方針

- 大里東市民センター及び鉄道駅周辺における空き家の活用や地区計画などによる定住促進の検討
- (都)春日井稲沢線の整備促進



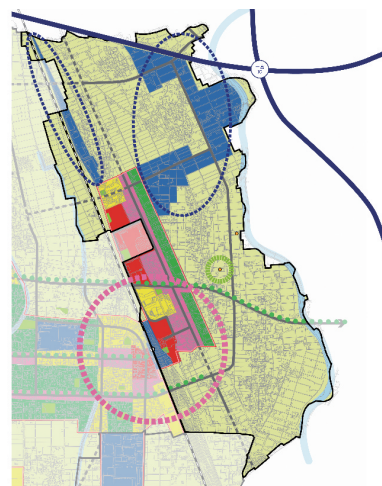
⑦ 下津地域

まちづくりの目標

- JR稲沢駅を中心とした便利でにぎわいのあるまちづくり
- 市街化調整区域の自然豊かな住環境が維持され、生活利便性の良さを生かしたまちづくり
- 一宮インターチェンジに近い立地特性を生かし、さらなる工業集積による活力あるまちづくり

まちづくり方針

- JR稲沢駅周辺における商業施設をはじめとする都市機能の維持
- 下津市民センター周辺における空き家の活用や地区計画などによる定住促進の検討
- 一宮インターチェンジに近接するなど、立地特性を生かした産業立地の推進





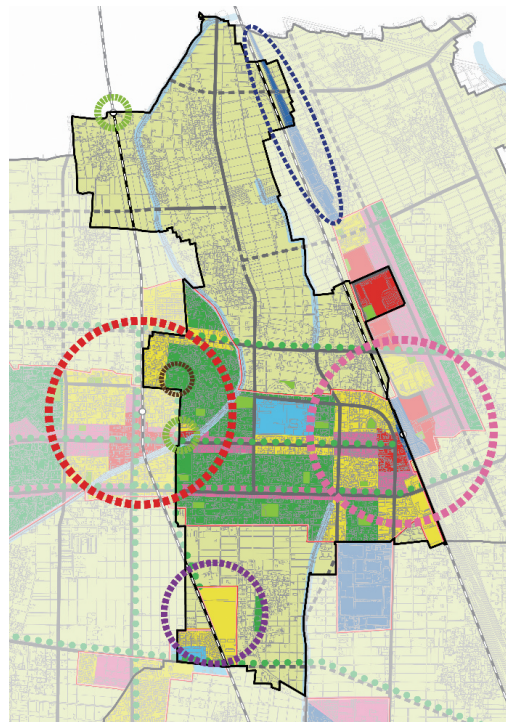
⑧ 小正地域

まちづくりの目標

- 公共交通の利便性を生かした、若者にも魅力的な新たな住宅地形成を図るまちづくり
- 尾張大國霊神社（国府宮）を生かし、多くの観光客が歴史・文化を楽しめるまちづくり
- 市街化調整区域の自然豊かな住環境が維持され、生活利便性の良さを生かしたまちづくり
- 閑静な住宅街で今後も落ち着いた暮らしができるまちづくり

まちづくり方針

- 名鉄国府宮駅周辺における再整備による都市機能の充実
- 名鉄名古屋本線の高架化実現を見据えた駅周辺の一体的なまちづくりの推進
- 尾張大國霊神社（国府宮）周辺と参道を生かした環境整備の検討
- まちなか居住を促進する新たな市街地整備



⑨ 稲沢地域

まちづくりの目標

- 名鉄国府宮駅周辺において日常生活を支える多様な都市機能が集積するまちづくり
- 公共交通の利便性を生かした、若者にも魅力的な新たな住宅地を形成するまちづくり
- 市役所周辺において都市機能の集積を維持するまちづくり
- 豊かな自然や歴史を感じる住宅地を形成するまちづくり

まちづくり方針

- 名鉄国府宮駅周辺における再整備による都市機能の充実
- 名鉄名古屋本線の高架化実現を見据えた駅周辺の一体的なまちづくりの推進
- 市役所周辺における公共公益施設や商業施設などの都市機能の維持
- まちなか居住を促進する新たな市街地整備
- 雨水調整池の整備を検討するなど、冠水対策を推進



重点施策

基本的考え方

名鉄名古屋本線の高架化実現に向けた取組みにより東西のまちの一体感を醸成し、民間開発を誘発するような名鉄国府宮駅周辺の再整備を行います。あわせて、新たな転入者を呼び込む市街地整備により都市機能の強化を図ることで、都市中心拠点にふさわしい一体的な市街地の形成に取り組みます。



主な取組み方針

市街地再整備の推進

- 公共施設と商業施設が融合した複合施設の立地など、名鉄国府宮駅周辺の活性化の礎となる再整備事業を推進

交通結節機能の強化

- 名鉄国府宮駅の交通結節機能を強化するため、利用しやすい駅前広場となるよう拡充を推進
- パークアンドライドを推進する公共駐車場や自転車駐車場の整備について検討

新たな住居系市街地の整備

- 居住ニーズの高い駅近において、防災に配慮した住居系市街地の整備を推進

名鉄名古屋本線の高架化

- 鉄道事業者などの関係機関と調整しながら名鉄名古屋本線の高架化実現に向けた取組み
- 都市計画道路をはじめとする道路と鉄道との交差形態について検討

実現化方策

計画の実現に向けた考え方

計画の実現に向けては、以下のような基本的な考え方により効率的・効果的なまちづくりの推進に努めます。

■情報の共有化

- 広報紙やホームページ、SNSの活用だけでなく、パンフレットや事業内容に応じたチラシの発行など、まちづくりに関する情報の共有化

■市民協働によるまちづくり

- 住民説明会やワークショップの開催などの機会を生かして市民からの意見を集約するとともに、多くの市民にまちづくりへの参画を促進
- まちづくりの担い手を発掘・育成する過程で、行政が積極的に支援することにより、市民の創意による地域の活性化と市民協働のまちづくりを推進

■まちづくり手法の検討

- 都市計画マスタープランの推進にあたっては、地域の特性や土地利用状況などを踏まえたうえで、市民の理解や協力を得ながら様々な手法を検討
 - ・ 必要な都市計画の決定や変更
 - ・ コンパクト＋ネットワークの理念を踏まえた立地適正化計画の策定を検討
 - ・ 土地区画整理事業や市街地再開発事業などの市街地整備

■まちづくり推進体制の整備

- 庁内の連携強化や組織体制の充実
- 国や県、周辺自治体やその他公的機関と調整・協力
- 専門家・アドバイザー・NPOといった人的なネットワークにより、技術的なサポートができる体制づくり

■都市計画マスタープランの見直し

- 本市の関連計画との整合を図りながら、適時適切な見直しを検討

計画の進捗管理

都市計画マスタープランでは、都市づくりの目標で示した5つの視点（都市構造、都市活力、都市生活、都市環境、都市運営）ごとに、指標及び目標値・方向性を設定します。

評価指標

視点	指標	目標値・方向性 (2029(令和11)年度)
都市構造	住居系市街地の新規増分	46ha
	産業系市街地の新規増分	30ha
都市活力	商品販売額	↗
	製造品出荷額等	↗
都市生活	都市計画道路整備率	↗
	市民一人当たりの都市公園面積	5.5㎡/人
	下水道の汚水処理人口普及率	↗
都市環境	コミュニティバスの一日平均利用者数	↗
都市運営	公共施設の総延床面積(普通会計)	↘

【参考】市民満足度

視点	指標	方向性 (2029(令和11)年度)
都市構造	名鉄国府宮駅周辺の活気や魅力	↗
	JR稲沢駅周辺の活気や魅力	↗
都市活力	商業の振興	↗
	工業の振興	↗
都市生活	道路の整備・利便性	↗
	身近な公園・緑地の親しみやすさ	↗
	生活排水の安定処理	↗
都市環境	自然環境の保全	↗
	コミュニティバスの利用しやすさ	↗
都市運営	効率的・効果的な行政運営	↗

INAZAWA City Planning Master Plan

【概要版】

稲沢市都市計画マスタープラン (第3次)

令和2年3月発行

発行 稲沢市

編集 稲沢市建設部都市計画課

〒492-8269 愛知県稲沢市稲府町1番地

電話 0587-32-1111 (代表)

ホームページ <http://www.city.inazawa.aichi.jp/>